

授業づくりにおける教師のしごと

～子どもの思考の深まりから考える～

“授業の準備にもっと力をそそぎたい”“同僚と、もっと授業の話がしたい”－教師に求められることが多様化し、多忙を極める毎日。そんな今だからこそ、わたしたち教師が本来最も力を注ぎたいはずの授業づくり、その「教師のしごと」に着目して、研究会を開きます。

「授業づくりにおける教師のしごと」とは、何を指すのでしょうか。

子どもたちは授業のなかで、それぞれが気づいたり考えたり、互いの言動にも刺激を受けたりしながら、みんなで学んでいます。授業のなかでの子どもたちの思考の深まり。その姿から、「教師のしごと」についてみなさんと考えあいたいです。

2026年 1月31日(土)

午前

公開授業・研究授業 / 分科会

午後

全体会 (基調提案・講演)



講演 藤本 和久 氏
(慶應義塾大学教授)

会場

奈良教育大学附属小学校 (奈良市高畑町)

資料代

2000円 / 学生1000円

後援

奈良県教育委員会(申請中)、各市町村教育委員会(申請中)

協賛

奈良教育大学附属小学校 PTA、つめくさ会(教育後援会)

奈良教育大学附属小学校 第51回 教育研究会

